

令和7年度第5回 学びあい育ちあい推進審議会定例会要点録

令和8年1月19日(月)

出席委員	社会教育の関係者	
	委員	布施栄子
	委員	小野和歌子
	学識経験者	
	会長	長島剛
	副会長	田中優
	公民館利用者代表	
	委員	西山規子
	多摩市図書館協議会	
	委員	高橋祥子
	文化財保護審議会	
	委員	横倉敏郎

出席職員	教育部長	小野澤史
	社会教育・文化財担当課長	石山正弘
	公民館長	伊藤麻衣子

欠席委員
権藤委員
倉品委員
細田委員

(開会時刻：14時00分)

議事録署名委員：西山委員

議事次第・配付資料

〔報告事項〕

1	令和7年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第3ブロック研修会及び交流大会・社会教育研修会について	【資料 1】
2	公民館事業進捗状況について	【資料 2】

〔連絡事項〕

1	学びあい育ちあい推進審議会委員の視察について	
---	------------------------	--

会	長 :	ただいまの出席委員は、7名である。定足数に達していることから令和7年度第5回多摩市学びあい育ちあい推進審議会定例会を開始する。会議録署名委員は布施委員にお願いする。
会	長 :	まず、資料の確認を事務局よりお願いする。本日から一部ペーパーレスでの説明としている。
事 務 局 :		— (社会教育・文化財担当課長より資料確認) —

〔報告事項〕

1 令和7年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第3ブロック研修会及び交流大会・社会教育研修会について 【資料 1】

会	長 :	報告事項1「令和7年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第3ブロック研修会及び交流大会・社会教育研修会について」を事務局より説明をお願いしたい。
社会教育・文化財担当課長 :		報告事項1「令和7年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第3ブロック研修会及び交流大会・社会教育研修会について」を報告する。東京都市町村社会教育委員連絡協議会第3ブロック研修会の第1部は、玉川大学客員教授仙北谷正樹先生を講師とした講演「アンガーマネジメント入門」。とっさの怒りを落ち着けて次の動きに繋げる方法などであった。第2部は、町田市民文学館の取り組み(展覧会観覧等)について館長より説明があった。令和7年12月13日小金井市宮地楽器ホール大ホールで行われた令和7年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会では、第1ブロック～第5ブロックで行われた研修会の報告、また「関わりの中から生まれる地域の未来 - 地域社会教育実践の経験を踏まえて - 」という題材での事例紹介やパネルディスカッションが行われた。
会	長 :	参加していただいた委員から他に報告はあるか。
委 員 :		第2部の町田市民文学館の展示は、展示物に自分の感想があり、そこにまた友人からの感想がある、という参加型の面白いスタイルであった。

委 員	員	第1部のアンガーマネジメントについては、以前にも勉強したことがあるが、あらためて新鮮に感じた。自身が所属しているスポーツ協会でも指導者用の勉強会に活かしていきたい。
委 員	員	同じくアンガーマネジメントは、勉強になった。文学館の展示では、詩の中でも歌詞が展示されていたので、若い方からの興味も見ることができ良かった。
会 長	長	東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会の方は、どうか。
委 員	員	色々な紹介があり、特に子ども達の遊び場の立ち上げなどのご苦勞な話を聞くことができた。

2 公民館事業進捗状況について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【資料 2】

会 長	長	報告事項2「公民館事業進捗状況について」を事務局より説明をお願いしたい。
公 民 館 長	長	資料2-1と資料2-2をご覧いただきたい。前回からの進捗状況としては資料2-1をご参照いただきたい。市民の皆様のご提案で開催している「市民企画講座」だが、今回は健康フレイル予防、障がい者理解促進、グリーンケア等を現在開催途中である。「子育て支援講座」で、今回は「①子供の主体性を引き出す、習い事とは？」「②スポーツ、勉強などに向けたメンタルトレーニングと親の声掛け」を保護者の方に向けて行っている。「学校や地域と連携した事業」では、毎年職場体験を受け入れているが、今年度は多摩大聖ヶ丘高校のゼミによる永山フェスティバルでのアンケート調査や探求ゼミを受け入れた。永山高校からの依頼を受け、1月14日に探求の講義を行った。今後は、永山高校の提案を受け、可能なものは実現していきたい。「地球大学院」では、今年昭和100年、戦後80年ということで、それらをテーマに6大学に講座を行っていただいた。「VITAふれあい祭り」は、今年度も2月8日に開催予定。関戸公民館としては、市民同士で触れ合える機会が設けられた一番大きなイベントである。「昭和100年公民館事業」では、レコードを用いた事業を実施予定。関戸公民館に関しては、レコードでジャズを聴こうという企画で、1月12日に100名程度来館があった。永山公民館では、鑑賞会を実施予定。「お正月デジログ運動会」はデジタルとアナログをかけたゲームで3回目の開催。今までは関戸公民館で行っていたが、今回は外に出て唐木田児童館で実施。定員32名に対して32名と大盛況であった。「日野市・多摩市「多様な学びの場構築広域連携事業」(ひのたまULTRA)」の企画は昨年度から実施し、今年度は実際に事業を実施。「民間事業者提案型講座」では、前半後半に分かれ、それぞれ2つの事業者、計4事業者に手をあげていただき、終活やお金に関する講座を開催していく。市内マッサージ経営者に関しては、肩こりや腰の痛み軽減のマッサージを2月に予定している。「中学校吹奏楽支援事業」は部活動の地域連携や地域移行などの課題に対して実施。 資料2-2について、「第35回映画祭 TAMA CINEMA FORUM」を11月に実施。授賞式延べ12,492人で前回10,168人より来館者が増えている。実行委員、ボランティ

	ア、支援会員ともに微増で、実行委員の組織が大きくなり事業が活性化している。「ひのたま ULTRA プログラム」では、全体のテーマを「あそび」とし、今年度のテーマを「木」と「気」とした。3回の日程参加者人数は2～5名と少なかったが、大谷戸公園で自然に触れ会話が弾み、消極的だった子どもが積極的になるシーンが見受けられ、楽しく参加している様子が伺えた。「吹奏楽クリニック」は今年度3回開催予定。参加者は1回目多摩中学校5名、2回目多摩中学校10名。部活動では聞けない個々の質疑応答により、子供たちが喜ぶ姿が見られた。「子育て支援講座」での「①子どもの主体性を引き出す習い事とは？」では参加者大人8名、「②スポーツ、勉強などに向けたメンタルトレーニングと親の声掛け」では参加者大人15名の参加であった。大人と子どもが体験できる場面や大人同士でグループを作り話せる時間が設けられ、盛況であった。「民間事業者提案型講座」については、生命保険会社や銀行3企業によるお金や相続の講座が多かった。
会	長：ここままで質問はあるか。
委	員：今回の定例会は、モニターを使って話していただいたので、とても聞きやすかった。
会	長：資料2-1の一覧表は見えにくいため、必要であれば作成だけはすることとして、説明の際にはパワーポイントだけで良いのではないか。
公 民 館	長：承知した。
会	長：「民間事業者提案型講座」の参加人数はどうか。
公 民 館	長：三井住友信託銀行は、3回でそれぞれ30～40名が参加している。アクサ生命は、それぞれ10名以下。アンケート結果は、まだ集計途中ではあるが、満足度は高くなっている。
会	長：アンケートは市役所が取っているのか。
公 民 館	長：アンケートは企業が行い、結果を見せていただいた。三井住友信託銀行に関しては、関戸公民館で行っているが、事業者による勧誘があったので参加人数がかなり多かった。アクサ生命は永山公民館で実施し、参加人数は少なかった。アシュリップとソニー生命の集計はこれからである。
会	長：企業が無料で開催し、参加企業も集客のメリットの可能性のある事業だが、何が起こることをもって成功とするのか。
公 民 館	長：特にマッサージの方は個人事業で、①顧客増、②サードプレイスとして地域に進出したい、マッサージを通して地域の皆様と繋がりたいという意向である。
会	長：金融機関とマッサージの事業者とは、種類が違うという認識か。
公 民 館	長：そうである。ただし、勉強という意味で、生涯豊かに暮らしてほしいという意味での公民館の役割がある。講座的な内容は必要と考えている。今後、手を挙げていただければ、事業者が増えれば、テーマ別に分けていくという事も考えていきたい。
会	長：一昨日、八王子市職員と話した際に、福祉課がメガロスと一緒に事業をやっていると聞いた。メガロスの場所を借り、市のイベントを無料で行う。プール、など有意義な施設を無料で利用でき、メガロス側は市が集客をしてくれ、お互いにWinWinの関係となっているようだ。金融機関も同じことが言えるが、そのまま終わってし

	まうのではなく、参加者が公民館活動に気が付いてもらう機会を熟考しないといけないと考える。
公 民 館 長 :	今年度は、実施1年目なので、今後活かしていきたい。
会 長 :	整理し、種類別に説明しながら今後も進めていただきたい。また、「中学校吹奏楽支援事業」の活動は、ゴールをどこにおいているのか。ドイツなどのように、勉強は学校であとは地域で吹奏楽などを教えていくという流れになっていくのか。
公 民 館 長 :	公民館としては部活動の場になれば良いと感じている。今後、部活動に入っていない生徒の場にもなっていって欲しい。どこが着地点かは難しいところだ。
会 長 :	庁内では、この内容はどのように理解されているのか。中学校部活問題では、少子化により、吹奏楽、サッカークラブ、野球部等の維持が難しくなる可能性がある。その場合に、公民館で色々な中学校・高校の生徒が午後5時になると公民館に集まり、練習し、やがて吹奏楽コンクールに出るというのもある意味理想的な姿ではある。公民館ではきっかけとしてやり始めているが、地域としてしくみをつくっていくのはどこの担当課になるのか。
教 育 部 長 :	部活動の地域展開は、教育委員会とくらしと文化部で一緒に進行中である。国のほうから具体的な期日で進行せよという指示もある。今年度はサッカー、バスケット、吹奏楽で昨年12月から試行を始めている。吹奏楽については、多摩永山中学校で地域の方の協力により始まっている。サッカーは、聖ヶ丘中学校と諏訪中学校が合同で行っている。部活動は、いろいろな地域展開でパターンも多々ある。市民の方も参加する協議会も作り、その中で議論の最中である。吹奏楽で難しいのは楽器の確保である。学校単位では人を集めるのも難しい。こういったことを試行している最中である。公民館であれば場もあり、楽器も一部にはある。学校教育と文化で進行しているが、社会教育がどのような形でそこに入っていくかも模索をしている。部活動の地域展開は、先生方の働き方改革がベースだが、子どもたちが楽しく部活をできるようにしていくことが大事である。地域の方の参加人数も減り、存続も心配であるが、地域全体で市民活動を活性化させていくという側面もあり、市としては力をいれていきたい。
会 長 :	よく理解したうえで、公民館で試行的にという事と部長の発言が連動して欲しい。今回のような吹奏楽支援事業を、その試行にのせ、やりっぱなしにしないでいただきたい。
公 民 館 長 :	和田中学校は、参加されていないので、今後お声がけをしていきたい。
会 長 :	時流にのっているので、今の話と積極的に連動していただきたい。
委 員 :	土日のみ行う部活があれば、不登校の生徒も来やすいのではないかと。文化団体連合で伝統文化部を作って土日だけやるなどの話がある。ただ、個人的に場所を予約システムでとると場所が不安定になる可能性がある。場所の問題を抱えている地域移行の部活と事業とを絡めて共同事業とした部活動になると良いと思う。
会 長 :	土日開催の部活があれば、不登校の生徒が不登校と分らないメリットがあると考えられる。とても良い事業。公民館の場として試行的にやってみるのは意味がある。

	やりっぱなしにならないようにと提案したい。
社会教育・文化財担当課長 :	他に連絡事項はあるか。
公 民 館 長 :	1月17日土曜日利用者懇談会を実施した。学びあい育ちあい推進審議会からもご参加いただいた。昨年度、学びあい育ちあい推進審議会からの「団体同士でお話しいただく機会を」という意見から、今回はグループワーク形式にした。16名の参加があった。広報、SNS、団体貸し出し時のチラシからの参加となった。テーマは「今後10年から30年を見据えた公民館のあり方」について話し合った。「椅子が重い」などの要望、自分たちがよりよく使うための意見があった。今後も幅広い方に来ていただけるような、自分たちの団体が活性化されるようなテーマを考えていきたいと思っている。
委 員 :	グループ分けは良かった。昨年の対面式では、たくさん発言される方が2名だけと偏りはみられたが、今回は4・5人のグループワーク形式でさまざまな意見が出てきて有意義であった。ただ、案内のチラシは分かりにくかった。グループワークの文字が小さかったので、分かりやすく目立たせると良いと感じた。
委 員 :	内容ではなく、施設、システムについての要望が多かった。ただ、集わない限り発展はないので、要望から大きく発展するような話し合いになることを期待したい。
会 長 :	前々回よりは、改善していると認識した。
公 民 館 長 :	次回の定例会で、また詳細は報告する。

〔連絡事項〕

1 「学びあい育ちあい推進審議会委員の視察について」

会 長 :	連絡事項1「学びあい育ちあい推進審議会委員の視察について」を事務局より説明願いたい。
社会教育・文化財担当課長 :	2月5日(木)に学びあい育ちあい推進審議会での探求の1つとして、大和市の文化創造拠点シリウスへの視察を実施する。すでに案内させていただき、参加の委員には通知を送付している。当日は、現地集合となるので定刻にお集まりいただきたい。
社会教育・文化財担当課長 :	シリウスは以前に視察をしたことがある。公民館と違い、イメージ的にはパルテノン多摩が近い。中に複合施設があり、1階のエントランスにスタバがあり、図書館も併設されている。パルテノン多摩に子育てスペース「オリーブ」があるが、こちらの施設にも「ポーネルド」という海外企業の子供の遊び場が運営されている。1時間、2時間での値段設定であったと認識があるが、大和市民に関しては割引の値段で、市外の方は市外料金で利用が可能である。図書館に関しては、当日是非実際にご覧いただきたい。本棚の中にただ本が陳列されているだけではなく、その中には大和市の歴史的な展示もあり、そこに関係書物があるような構成になっている。こちらの運営は、指定管理者となる。色々な企業が共同体を組み指定管理をしている。興味深い施設と考えている。
会 長 :	施設説明は、どの分野の方がやるのか。

事務局：	指定管理の方が、全体的な説明をしていただけるとのことである。
会長：	視察は、2月5日(木)になる。参加可能な方はぜひ参加願いたい。
会長：	以上で、本日の予定は全て終了した。次回は、2月18日水曜日午後2時から、会場はベルブ永山の教育委員会会議室で行う。

(45分)

(閉会時間14時45分)

会議規則第10条第4項によりここに署名する。

令和 年 月 日

会長

委員